

柳川の未来を描くワークショップ 実施結果報告書

1 目 的

市が抱える懸案事項等に関し、市民と市職員と一緒にワークショップを実施することで、住民参画と協働のまちづくりの推進を目的としています。

今回のワークショップは、令和2年の国勢調査の結果、合併前の旧柳川市と旧大和町が「過疎地域」に指定されたことにより、過疎地域が抱える問題や過疎地域から脱却するための意見やアイデアを出してもらい、今後の市の事業計画などの参考にするため実施したものです。

2 実施概要

■日 時 および 会 場

- ①令和4年7月21日(木) 10:00~12:00 柳川市民文化会館 イベントホール
- ②令和4年7月21日(木) 19:00~21:00 柳川市民文化会館 イベントホール
- ③令和4年7月23日(土) 10:00~12:00 大和生涯学習センター 大研修室

■参 加 者

- ①5人 (A班)
- ②8人 (A班4人、B班4人)
- ③8人 (A班4人、B班4人)

■コーディネーター

佐賀大学 山下宗利 理事



■実施方法

過疎地域とはどういった所なのか、柳川市の現状、人口減少対策の好事例などを説明し、1ないし2の班に分かれてグループワークを行いました。自己紹介の後、柳川市に最も必要と考えるキーワードをひとつ出してもらい、そのキーワードを元に、各自意見を出して模造紙にまとめ、発表を行いました。

3 ワークショップで出た意見

(1) 主な意見

キーワード	意見・アイデア
まちづくり	観光の魅力化（観光地以外も巻き込む）
	川や掘の水をきれいにする ・ 下水処理場を旧大和町にも作る
	安心して暮らせる環境の整備
	ひとに居住を勧めたくなるまち
	帰って来たくなるまち（Uターン）
	住まなくても、行きたくなるまち ・ 落ち着いて過ごせる場所があれば、滞在時間をのばせる、 また来たくなる、通いたくなる
	広い土地（旧大和町）を生かしたイベントの開催 ・ （案）「ドローンフェスティバル」
	大人も子どもも楽しめる図書館がほしい
	空き家/空き地の利活用 ・ リノベーションすれば活用できる ・ 子育て世帯に空き家（戸建て）を賃貸する ・ 古民家カフェ（掘割沿い）にする ・ 移住者シェアハウスとして利用する ・ 数カ月滞在できる、居住体験施設として利用する （安く滞在してもらうことで、来やすくする） ・ 空き家/空き地所有者の相談窓口がない
ひとづくり	若者の活躍や交流の場 ・ 地元のおまつりなど、まちづくりへの参加 ・ 若者を応援したい（力になりたい） ・ （大学などの）オンライン授業のためのネット環境の整備 ・ 地域のサポートをして欲しい
	女性が活躍できる場 ・ 子育てサポートの充実 ・ 柳川版クォーター制をやってみる
	世代を超えた集いの場の充実 ・ 希薄になっている「つながり」を取り戻す

ひとづくり	<p>移住者と地元民の交流の機会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け入れることを日常化して、共感の心を育む ・移住者を孤立させない ・自分ごととして考える
	おもてなしの心の醸成
歴史	<p>柳城中学校は大変重要な歴史資源</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校再編が計画されているいま、生かさない手はない ・観光資源にすべき（大河ドラマ誘致） ・発掘調査をしてみてもどうか
	<p>歴史の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史を知ることによって地元を知る、地元を知ることによって好きになる
子育て/教育	<p>公園（遊び場）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちの中心に公園がほしい ・火や水で遊べる公園がほしい
	親同士が交流できる場所がほしい
	<p>郷土愛の醸成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元を知って、好きになる
	<p>学校選択制にできないか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育内容に応じた特色ある学校（学力だけではなく） ・何かに特化した学校 ・学校再編計画で閉校となる学校を活用する
	<p>多様な教育の場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいや不登校の支援（フリースクール） ・多様性を認める教育
	<p>小中学校再編計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧市町エリアベースの計画はおかしいのではないかと、距離で判断してほしい ・再編案：矢ヶ部小を蒲池小に統合する ・再編案：柳城中・柳南中・蒲池中を柳河小の場所に ・学校跡地の再利用案：ホークスの宿舎などに
仕事	<p>農漁業の発展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柳川にしかない強みを活かす ・特産品をつくる

仕事	新しく農漁業しやすい環境の整備（間口を広げる）
	「稼ぐ力」の教育
	企業誘致 ・とどまってもらふ努力が必要
	リモート/テレワークのための環境整備 ・コロナ禍で働き方が変わってきている
	年齢を重ねても、責任ある仕事 ・生涯活躍できるまちに
	稼げる仕事（魅力のある仕事） ・仕事があれば住む人が増える
	若い人の仕事 ・仕事があれば帰ってくる（Uターン）
情報発信	年代によって求める発信素材が異なる ・年代別に効果的な情報発信を
	「柳川アプリ」が欲しい
	情報が伝わっていない（市民が市内の情報を知らない） ・相手の身になった、確実な情報伝達を
	広報誌をおしゃれに ・人をひきつけるツールになる
	若者の情報発信力を利用する ・SNSの利用で、自然と（意図せず）情報発信してくれる
	移住相談窓口が分からない ・柳川の生活がイメージできるような情報の発信を
	アクセス・交通
柳川駅以外の駅周辺の整備 ・柳川駅以外のそれぞれの駅が拠点となる	
平地を生かした自転車の利用促進	



(2) その他の意見

- 覚悟、責任が必要ではないか
 - ・ 十数年前から同じようなことをやっているのにいまだに変わっていない問題を先送りしてきただけ（解決は無理だと感じている）
 - ・ なぜ、問題解決できないのか（実現できないのか）考えてほしい
- 柳川市に住みたくない
 - ・ やむを得ずUターンしたが、帰ってきたくなかった
 - ・ 地域柄なのか、個人情報の漏洩がひどい
- 「助け合い」が薄れてきている
 - ・ 財政力がないことも理由のひとつ
- 行政区・自治会の独自ルール
 - ・ 行事（掃除、運動会など）に欠席すると罰金、というおかしなルール
地域コミュニティとして必要なものであり、罰金という考えはおかしい
行政区の加入を遠ざける一因では？
 - ・ 必要な役割をしたがらない（避けている）人が多い、役を担う人がいない
- 予算の有効な使い方
 - ・ 毎年ほとんど変わらないのは問題である
 - ・ プロジェクトチームを作って、優先順位をつけて、有効に使う
 - ・ 専門家の知識、ノウハウを生かす
- 明石市の泉市長の施策を取り入れる
- 今あるものを有効に活用する
 - ・ 「過疎地域」であることを利用する
- 柳川から転出した人の意見を聞く
- 市議にもこういった意見を聴いて欲しい
- このワークショップに意味が見いだせない
 - ・ 結果（成果）の報告をしてほしい
- （様々な事業について）市に要望した後の、進捗報告をしてほしい
 - ・ こちらから聞かないと、進捗状況を教えてもらえない
 - ・ 「区長が言えば事業が進展する」という間違った考えがいまだにある
 - ・ 定期的に進捗報告があれば、「区長が言えば進展する」、というような間違った認識を避けることができるのではないか

4 参加者アンケート

ワークショップ後にアンケートを記入してもらいました。

(1) 今後どのようなワークショップに参加したいですか。

未来に対するワークショップ
主催者が方針、具体案を提案して欲しい
まちづくりワークショップ
前向きに考えられるものが良い また、きちんと後につながるものが良い
柳川が今より良くなる様な話し合い
また、柳川の来を描くために具体的に何が出来るか話し合いたいです
いろんな属性の方の参加があるワークショップ
まちづくり
継続して内身を深めることのできるワークショップに参加したい
子どもの教育について、学校のこと、発達障害の子、不登校の子の支援、多様性教育とはどうあるか
子どもと大人が希望ある未来について話あえる場
子育て、教育、観光などテーマをしばっての企画も良いです 世代（小・中・高校生）の未来を描くワークショップもあると良いと思います
今回の意見を集約して、より具体的に話をしていくワークショップ
これからのまちづくりには、若者の意見やアイデアが必要不可欠なので、多くの若者に参加してもらいたい 若者の多いワークショップ
具体的な施策、例えば廃校活用が決まった後に、どういう場にしたいかのワークショップ とか、そういったものに参加したい
柳川の未来を考えて行くもの まちの活性化、子育て支援など
建設的な意見がだしあえる場であってほしい（今回はとてもよかったです） 意見にもあったように、子供達とも一緒にしたい

(2) ワークショップで言えなかったこと。

市長、市議会議員の責任
市民協働のまちづくりについて
明石市の泉市長のモデルをぜひ参考にしてほしい
小中高の方にも今の柳川のことを話し合う場所があるといいと伝えたかったです

<p>言えたと思います</p> <p>行政と一緒に考えて行きたいです</p> <p>今後も市民の声を聞いていただける場を作ってほしいです</p>
<p>人口増に関するまちづくりのアイデアについて</p>
<p>何でも言いやすい雰囲気でした</p>

(3) ワークショップに参加しての感想

<p>数十年も前から同じような会議、議論をやっているんだろうなあ…</p> <p>今後も同じことが続くんだろうなあ…</p>
<p>言いたいことを言わせていただきました</p> <p>ありがとうございました</p>
<p>有意義な話し合いでした</p>
<p>様々な方の率直な意見が聞けて、とても刺激になりました</p> <p>もっと行政、町づくりに興味を持って、覚悟を持って、行動をおこしていきたいと思いました</p>
<p>今回、このような市主催のワークショップに参加したのは初めてでしたが、自分が知らなかったことも多く、発見もたくさんでした</p>
<p>たくさんの意見を聞くことができ、柳川が好きとみなさん思っていて嬉しかったです</p> <p>とても有意義なお話しが聞けたし、話せたことがよかったです</p> <p>みなさんがこのような意見（柳川の発展の学）を出し合える場を増やしていけたらいいなと思います</p>
<p>いろんな意見が出てよかったが、これがどのようになっていくかが見えなかった</p>
<p>とても楽しかったです</p> <p>色々な方の意見が聞けてよかったです</p>
<p>女性が多くて新鮮でした</p>
<p>活発な意見が出ておもしろかった</p> <p>柳川の未来は明るいと思えた</p>
<p>ワークショップを設けて下さりありがとうございました</p> <p>市民の方々が柳川を良くしたい思いをリアルで聞けてうれしかったです</p> <p>自分だけが思っているが、どの様に伝えれば良いかわからなかった</p>
<p>柳川だけでなく、全国のいろんな地域で起こっている問題だと思います</p> <p>自分の地域に持ち帰り、何ができるのかを考える良い時間となりました</p>
<p>今、特に未来を描けなくなっている社会の中で、このように柳川の未来を描きながら話せるというのは、大変貴重な機会でした</p>

<p>立場の違う方の意見を聴き、考えを発展させることが出来ました この意見や声を、行政の方が施策に反映させるのは大変なことと思いますが、柳川の未来のために、小さなことから続けていけると良いなあと思っています</p>
<p>これからの柳川にとっていろいろな意見をうかがうことができたのが一番です 時間が短かったので、もっと話をしたかったです</p>
<p>様々な考えやアイデアを持った方や、自分と同じ考えの方がいて楽しかった 共感できるところが多く、知識も広がったと思います</p>
<p>市民の声を外部の自分が聞くことができた貴重な場と感じた</p>
<p>皆さんとても活発に意見を述べてらして、参加して楽しかったです 反映していただけるアイデアがあればうれしいです</p>
<p>初めてのワークショップでしたが、皆さんお互いの意見をきちんと受け入れてくれて、とても前向きだったと思う 自分達の住むまちがもっともっと住みたくなるまちになってほしいと思っている人は沢山いると思いました</p>

(4) その他

<p>また是非参加したいです</p>
<p>仕事の後でも参加できる時間帯の開催があると、また参加したいと思います</p>
<p>今後もさらに深ぼりしてほしい 深ぼりする様なワークショップがあると良いです</p>
<p>良いまちづくりになるよう継続していただけると嬉しいです</p>
<p>このワークショップが今後どう活かされるのかがとても興味深いです</p>